



小型船舶をお持ちの皆様へ

あなたの船は  
大丈夫ですか？



係留中の転覆事故  
が多発しています！



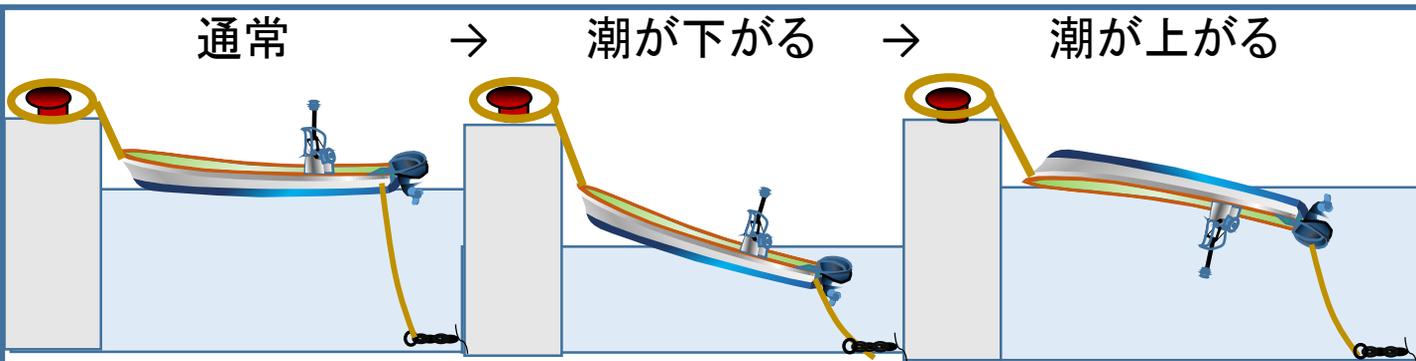
大切な船  
だったのにー！

係留索に余裕はありますか

海面変動に対応し、船が上下できる係留方法ですか？

# 転覆した船の原因

## 原因その1 (ロープに余裕がない係留)

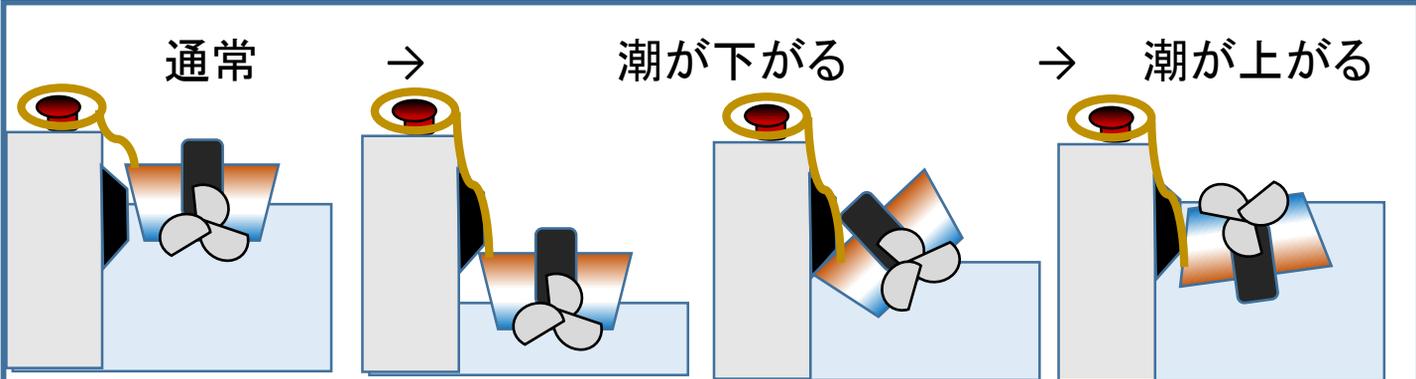


① 平均水面時に  
余裕のない係留を  
してしまうと、

② 潮が下がった際、  
宙吊り状態に  
なってしまう。

③ 宙吊り状態で、  
海水が打ち込み浸水し  
海面上昇時に転覆する。

## 原因その2 (防舷材に密着した状態)



① 舷が低いと、

② 潮が下がった  
際、舷が防舷  
材に引っかかり

③ 潮が上がった  
時に、海水が  
打ち込み浸水し、

④ 転覆する。

## 事故防止対策

### ① 高潮や潮汐の影響を考慮して係留する

係留索に余長を持たす(伸縮性アンカーロープ※の使用など)  
※約3倍の長さまで伸び、急激な変動時のクッションとしても作用する。



### ② 係留状態をこまめに確認

大潮等の干満差が大きい日や、荒天前は自船の係留状態を確認し、係留地移動や陸上保管も早期に検討する。

### ③ 防舷材に引っかからない工夫を！

防舷材に引っかからない船体位置の調整又は船体構造を工夫し、その対応が不可の場合は定係地の変更も検討する。